



# MON Nara 通信



Numéro 18

Association Franco-Japonaise de Nara 奈良日仏協会

AVRIL 2024 4月

## これからの催しご案内

### 第 155 回フランス・アラカルト「古民家と写真を語る」

- ❖ 日時: 2024年5月12日(日) 14:30~16:30
- ❖ 会場: 生駒市コミュニティセンター4階 401号室
- ❖ 参加費: 会員 500 円、一般 1,000 円
- ❖ 申込先: sugitani@kcn.jp TEL. 090-6322-0672 (杉谷)
- ❖ ゲスト: コリーヌ・アギーレ (Coline Aguirre) さん
- ❖ ※当日はフランス語と日本語でお話しくださいます。
- ❖ コリーヌ・アギーレさんからのメッセージ: « Je suis Coline, une Française de 26 ans passionnée par le Japon et ses maisons traditionnelles. Basée à Uda, dans la préfecture de Nara, je me suis engagée à préserver le patrimoine architectural et culturel du Japon en redonnant vie à un petit trésor historique, une Kominka d'une centaine d'années d'une surface de 300 m carrés. Avec mon compte Instagram [coconokominka], je partage au quotidien mon aventure, capturant chaque étape de mes projets de rénovation avec amour et dévouement. Il est pour moi important de partager l'authenticité et la beauté intemporelle des maisons traditionnelles japonaises car je pense que cela attirera au Japon de jeunes gens pleins de beau projets et permettra de préserver un patrimoine architectural et culturel unique. Lors de la conférence à venir je souhaite vous présenter en détail les événements qui m'ont conduit à devenir propriétaire d'une Kominka dans la campagne de Nara, l'évolutionniste des travaux et mes objectifs pour 2024. J'espère aussi vous donner envie de visiter la charmante ville de Uda ainsi que les campagnes du Japon de manière générale. »



traditionnelles. Basée à Uda, dans la préfecture de Nara, je me suis engagée à préserver le patrimoine architectural et culturel du Japon en redonnant vie à un petit trésor historique, une Kominka d'une centaine d'années d'une surface de 300 m carrés. Avec mon compte Instagram [coconokominka], je partage au quotidien mon aventure, capturant chaque étape de mes projets de rénovation avec amour et dévouement. Il est pour moi important de partager l'authenticité et la beauté intemporelle des maisons traditionnelles japonaises car je pense que cela attirera au Japon de jeunes gens pleins de beau projets et permettra de préserver un patrimoine architectural et culturel unique. Lors de la conférence à venir je souhaite vous présenter en détail les événements qui m'ont conduit à devenir propriétaire d'une Kominka dans la campagne de

Nara, l'évolutionniste des travaux et mes objectifs pour 2024. J'espère aussi vous donner envie de visiter la charmante ville de Uda ainsi que les campagnes du Japon de manière générale. »

26歳のフランス人女性、コリーヌです。日本とその伝統的家屋が大好きです。奈良県の宇陀市に住んで、日本建築の文化遺産を保護する活動を始めました。築およそ 100 年、300 平方メートルの小さな歴史財産の「古民家」を蘇らせるのです。愛と献身の気持ちで、改築計画のそれぞれの段階を写真に撮り、日々、Instagram [coconokominka] で、私の活動を紹介しています。日本の伝統家屋の、時を越えた本物の美しさを紹介することが私にとって大切なのです。というのは、このことによって、多くのすばらしい計画を携えた若い人たちが日本に惹きつけられて、類のない文化的建築遺産を守ることができるからです。フランス・アラカルトでは、私がどのようにして奈良の田舎の古民家を所有するようになったのか、そのいきさつや、仕事の進展の様子、2024年の計画について、詳しくお話しします。そして、みなさんが、宇陀の魅力的な町や、日本各地の田舎を訪れたくなるよう願っています。

### 第 63 回日仏シネクラブ例会『小間使の日記』(ルイス・ブニュエル特集①)

- ❖ 日時: 2024年6月30日(日) 14:00~17:00
- ❖ 会場: 奈良市西部公民館 5階視聴覚室 (予定)
- ❖ プログラム: 『小間使の日記』 (Le journal d'une femme de chambre, 1964年, 94分)
- ❖ 監督: ルイス・ブニュエル
- ❖ 参加費: 会員 200 円、一般 300 円
- ❖ 問い合わせ: Nasai206@gmail.com TEL. 070-1731-0230 (浅井)
- ❖ 予約不要
- ❖ ノルマンディー地方のブルジョワの家に、パリから小間使としてやってきたセレスティヌ(ジャンヌ・モロー)。家の実権は夫人がにぎり、婿養子の夫(ミシェル・ピコリ)は無能な恐妻家。夫人の父親の隠居老人は、セレスティヌを部屋に招き入れ彼女にブーツを履かせて悦んでいる。ブルジョワジーの隠微な実態・モラルや官能のあり方が、セレスティヌの眼を通じて暴かれてゆく。ある日平穏だった田舎町でレイプされた少女の遺体が発見される。パリに帰ろうとしていたセレスティヌは、少女の事件のことを聞いて家にとどまる。彼女のとった行動は...? 音楽はいっさい使わず、列車の音・馬の蹄・教会の鐘などの現実音を豊富に使用。1900年だったオクターヴ・ミルボーの原作の設定を、ブニュエルは 1928年(『アンダルシアの犬』が発表された年)に変えている。本作品を通じて、当時のヨーロッパ社会の動向へのブニュエルの批評的視線も読みとることができる。



## 奈良日仏協会創立 30 周年記念式典のお知らせ

本年は、奈良日仏協会を創立して、30 周年の記念の年となります。この祝賀行事として、秋に記念式典と、年末に記念誌の発行を計画しております。現在、鋭意企画が進行中ですが、式典については、日程と会場が決まりましたので、先にお知らせしておきます。Mon Nara 10 月号にて、詳細をお知らせするとともに、参加の募集を行ないます。皆さんのスケジュールに入れておいてください。



❖ 日時: 2024 年 11 月 24 日(日) 11:30~14:00

❖ 会場: 奈良ホテル(奈良市高畑町 1096)

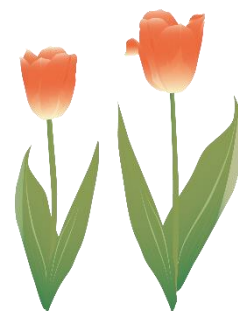
## 活動記録

☆2 月 25 日(日): 第 62 回シネクラブ例会『思い出のマルセイユ』(ジャック・ドゥミ特集④)

☆3 月 14 日(木): 第 8 回美術クラブ「モネ—連作の情景」展鑑賞会 大阪中之島美術館 ナビゲーター: 浅井直子  
いずれも詳細報告は、Mon Nara 6 月号をご覧ください。

## 《2024 年度第 1 回理事会報告》…事務局

☆日時: 2024 年 3 月 21 日(木) 15:00~16:50。 ☆場所: 野菜ダイニング「菜宴」。  
☆出席者: 三野、浅井、藤村、高松、喜多、藪田、三木、杉谷。  
☆議題 1. 2024 年度会費納入額・会員数。 2. 前回理事会(1/18)後の活動: 2024 年度総会(2/11)、第 62 回シネクラブ「ジャック・ドゥミ特集④『思い出のマルセイユ』(2/25)、第 8 回美術クラブ「モネ展」鑑賞会(3/14)。 3. 今後の行事: 第 155 回フランス・アラカルト「古民家と写真を語る」(5/上)、第 63 回シネクラブ「ルイス・ブニュエル特集①」(6/30)。 4. 30 周年記念行事検討。式典(11/24)。 5. Mon Nara、Mon Nara 通信。 6. 次回理事会: 2024 年 5 月 16 日(木) 15:00~16:30 「菜宴」。



**後記** ☆Mon Nara 通信 4 月号と新しい会員名簿をお届けします。☆フランス語の個人レッスンを受けていますが、最近先生が嘆かれています。生成 AI や翻訳ソフトの性能がどんどん高まってきたので、翻訳や語学教師の仕事が脅かされるのではという悩みがあると。先生のおっしゃるには、翻訳については、完璧な翻訳が必要な場合は、やはり人間の目で最終チェックしなければなりません。概略の意味を把握するための下訳なら生成 AI で充分だし、語学学習でも、ChatGPT で添削してもらったり、Google 翻訳の音声を聞いて発音を確認したりと、効率よく勉強できるので、一人でも十分可能というのです。実際、私もフランス語で手紙を書くことを想定した場合、これまでは、必死になって和仏辞書を一語ずつ参照して長い時間かけて作文をして、それでも間違いだらけの文章になっていましたが、実用だけ考えると、ChatGPT に書いてもらったものを自分の目で確認するのが正確で手取り早く意思の疎通が図れます。先生とのレッスンでは、毎回、私が読書などで得た知識をフランス語に直したものを、先生に添削してもらっていますが、先生から DEEPL という翻訳ソフトを教えられたりすると、一つの単語を辞書で引くのと、フレーズを翻訳ソフトで作成するのとそんなに大きな違いはないと思ってつい使ってしまう。さらに ChatGPT に全文を流し込めばという悪魔のささやきも聞こえてきますが、しかしそんなことをしては、フランス語の力が身につかないままとなって何のために勉強しているのかという声もあり、利便性と能力向上のジレンマに陥っているのが、このところの私の悩みです。(杉)

◆当協会では**会員を募集**しております。お申込み、お問合せは下記事務局まで。

◆Mon Nara 誌への投稿、とくに新鮮で多様な話題、直近のフランス情報などを歓迎します。誌面の都合でご相談のうえ表現を変えさせていただくことがあります。Mon Nara 6 月号は 5 月 31 日が原稿締切日です。

◆会員のみなさまで「Mon Nara」(2 月、6 月、10 月発行)、または「Mon Nara 通信」(4 月、8 月、12 月発行)に**チラシ同封を希望される方は**、1) 内容がフランスに関わるもの、2) 本人または代理人が発送作業に参加、の二つの条件を満たせば同封可能ですので、下記事務局までお問い合わせください。

Mon Nara 通信 2024 年 4 月 numéro 18

奈良日仏協会 Association Franco-Japonaise de Nara

HP : <http://www.afjn.jp> E-mail : [nara.afj@gmail.com](mailto:nara.afj@gmail.com) FAX : 0742-62-1741

〒630-8226 奈良市小西町 19 マリアテラスビル 2F 野菜ダイニング菜宴[郵便物のみ] 発行責任者: 三野博司